



### 3 プロジェクトの内容と関連施策

#### ◎ 農業者いきいきプロジェクト

農業者が自信と誇りを持って、農業経営に取り組めるよう、農業所得の向上を目指し、農地の大区画化と合わせたスマート農業の導入促進などによる生産性の向上や市場ニーズに対応した販路の確保など経営力の向上に向けた支援に取り組めます。

関連する施策事業	施策体系上の位置付け
担い手の経営力の向上	> 人づくり ①
農地の大区画化の促進	> 基盤づくり ①
麦や露地野菜への作付転換の促進	> 生産流通体制づくり ②
産地力の強化	> 生産流通体制づくり ②
経営方針に応じた販路の確保	> 生産流通体制づくり ②
安全・安心の見える化	> 生産流通体制づくり ②
農業DX・スマート農業技術の導入促進	> 生産流通体制づくり ③

#### ◎ 農産物価値向上プロジェクト

宇都宮産農産物の付加価値向上や農業者の経営発展を目指し、市場ニーズを踏まえた農産物の生産振興や販路の確保を支援するとともに、宇都宮産農産物の効果的な情報発信や6次化などの支援により、新たな価値の創出に取り組めます。

関連する施策事業	施策体系上の位置付け
市場ニーズの把握	> 生産流体制づくり ①
市場を意識した効果的なPR	> 生産流体制づくり ①
産地力の強化	> 生産流体制づくり ②
経営方針に応じた販路の確保	> 生産流体制づくり ②
新たな付加価値の創出	> 生産流体制づくり ②
市民全体で支え合う関係性の強化	> 生産流体制づくり ②

## ◎ グリーン農業ひろがるプロジェクト

環境と調和した農業生産の実現を目指し、農業者に対して環境負荷低減技術の普及を進めるとともに、消費者に対する情報発信等により、グリーン農業の普及拡大を目指します。

関連する施策事業	施策体系上の位置付け
グリーン農業技術の普及促進	> 生産流体制づくり ③
グリーン農業の消費者理解の促進	> 生産流体制づくり ④

多層カーテン



ヒートポンプ機器



環境米のテスト販売の様子



## ◎ 農業・農村つながりプロジェクト

地域住民主体の農村づくりを推進するため、地域における多面的機能活動の維持や都市農村交流活動を促進などによる、市民参画による良好な農業・農村環境の維持・保全に取り組みます。

関連する施策事業	施策体系上の位置付け
守り手・支え手の確保・育成	> 人づくり ③
引き受け手のない農地の新たな担い手の確保	> 人づくり ③
地域計画の推進	> 地域づくり ①
多面的機能保全活動の維持・拡大	> 地域づくり ②
都市農村交流活動の支援	> 地域づくり ④

## ○グリーン農業とは？

～グリーン農業の目指すところ～

令和3年5月に、持続可能な食料システムの構築に向け、農林水産省が「みどりの食料システム戦略」を策定し、2050年までの中長期的な政策方針として化学農薬の使用量を50%減、化学肥料30%減などの目標を掲げました。

これを受け、令和5年3月に栃木県と県内市町が共同で「とちぎグリーン農業推進方針」を策定し、その方針の中でグリーン農業を以下のように定義しました。

グリーン農業とは、カーボンニュートラル等の新たな視点を取り入れながら、「環境負荷の低減」と「収益性の向上」を両立する、環境と調和した持続可能な農業生産のこと

[グリーン農業の取組例]

- ・化学肥料・農薬の使用量削減（有機農業を含む）
- ・温室効果ガスの排出抑制（ヒートポンプなど省エネ機器の導入等）
- ・マイクロプラスチック対策（生分解マルチの導入等）
- ・消費者との相互理解の促進
- ・環境負荷の低減に資する新技術の開発 等

～本市の取組事例～

### ○低コスト施肥実証栽培【農業技術高度化研究会】

本市では、肥料などの生産コストが高騰する中、農業経営の安定や、環境負荷低減を図るため、市農業技術高度化研究会において、令和5年度より化成肥料の一部を鶏ふん等に置き換えた実証栽培に取り組んでいます。

### ○耕畜連携【県・市】

国際情勢の変化や円安等に伴い、輸入穀物や化学肥料の価格高騰により、農家経営が圧迫されている中、自給飼料の増産や堆肥の有効活用による、国際情勢に左右されない持続的に発展する耕種・畜産経営の実現を目指すもので、耕種農家の農地に作付けした飼料イネや飼料作物を畜産農家が利用し、その飼料を食べた家畜の排せつ物を原料とする堆肥を農地に還元する耕畜連携を推進しています。



グリーン農業の取組は、多岐にわたり、本市に適した生産手法や技術の確立、需要拡大のための消費者の意識醸成など様々な問題が顕在しているため、生産段階から流通・消費段階における様々な課題への対応を検討していく必要があります。

グリーン農業技術の実証・普及や、グリーン農業で生産され農産物への消費者の理解促進を図りながら、グリーン農業の生産流通体制づくりに取り組んでいきます。